

1月の紹介

2021 年1月1日

読者の皆さん

今、この手紙を読んでいるシッダ・ヨーギの皆さん、そしてシッダ・ヨーガの道は初めてという皆さん、幸せな、幸せな、幸せな 2021 年、明けましておめでとうございます！ 1月によこそ！

元日はいつも、私たちの人生への約束にあふれ、そして新しい可能性という贈り物を携えて、私たちの方へ前進して来ます。シッダ・ヨーガの道では、私たちはこのように強力な始まりを敬い、そして細心の注意を払います。

全人類にとって、この新年は他の年とは異なっています。多くの人が 2020 年に別れを告げ、2021 年に移ることを熱望しています。人々はこの困難な時間のページをめくるまでの日数を数えてきました——そしてついに、その時が来ました。しかしながら、世界的なパンデミックは依然として世界規模で人類に影響を及ぼし、他のさまざまな困難もあふれ続けています。

シッダ・ヨーギとして、私たちは、たとえ世界が私たちの周りで渦巻いている時でも、より一層の目的意識を持ち、真理に定着しようと意図し、自分たちのサーダナーに再び専心することができます。

時間の新しい一コマが始まる時、それは私たちを、過去を乗り越えて、開いた心で現在に踏み出し、そして期待と共に未来を迎えるよう招いています。今日という日に、私たちの目は、切望と希望あふれる熱意が入り交じって、大きく開いています。

今朝、初日の出を心の中で迎えた後、私はフロリダのわが家の網戸で囲われたベランダに出ました。小鳥のさえずりと共に、そして近くのヤシの木々や静かなシャーウッド湖の波紋に迎えられて、私はあらゆるもの——人々、土地、動物たちに地球——を思いやる祈りをささげました。新鮮な夜明けの空気の中で、グルマーイ・チッドヴィラーサーナンダを心の中に抱きながら、私の前にある光景に少し注意深く目を向け、この新しい年の感覚をじっくりと考えました。

そこに立ちながら、私は、この世界中のどこかでこの手紙を読んでいるであろう皆さんのことを考えました。あなたが故郷と呼ぶ地帯や地域がどこであろうと、あなたが、たまたまどこにいたとしても、私たち全員にとっての真実が一つあります。グルマーイの愛と恩恵は、私たちがこの新しい年の敷居をまたぐ時に私たちと共に在る、ということです。

この祝福を私が体験する、ある具体的な方法を紹介させてください。編集者および書き手としての仕事において、私は新しい企画のたびにグルマーイの恩恵に触れるようにしています。例えば、この手紙を書いている時、私は皆さんと一緒にいると想像しています。私たち皆がこれからの月を旅するのを思い描き、この手紙を読む人それぞれが独自の方法でグルマーイの恩恵を体験するだろうと確信します。

私たちがシッダ・ヨーガの道のサーダカとしてこの入り口を通過して前に進む時、この 2021 年という新しい年が、新しい理解を伴う、光り輝く新たな始まりを含みますように。

祝祭と祝日

ここで、2021 年1月の幾つかの重要な日について見てみましょう。これらの行事それぞれが、私たちが今この瞬間に再び入り、神聖な美德を認識し、それらを実践する機会です。1月の三つの祝日は、新しい始まりの新鮮な日々の中、私たちの精神修行およびシッダ・ヨーガの道の起源と教えに焦点を当てる、独自の機会を与えます。

- 1月7日は、「シュリー・グル・ギーター」がアーシュラムの日課として朗唱されるようになった49回目の記念日です。「シッダ・ヨーガの道における『シュリー・グル・ギーター』の重要性」の中で、スワミ・シャーンターナンダがこの崇敬される教典の歴史と朗唱の力を解明しています。
- 1月14日はマカラ・サン克蘭ティを祝います。インドの伝統によると、この日から太陽がウッタラーヤンと呼ばれる北に向かう6カ月の軌道を進み始め、北半球に光が増え続けます。この祝日に私たちがたたえるのは、息を飲むような色彩の筆致を伴って、毎日に輝きを与えているスーリヤ神、太陽の神です。
- 1月26日はインドの共和国記念日です。国家が新憲法を採択し、民主主義国家を確立した日です。私たちはインドを、その慈悲深さ、豊かな伝統、知識の蓄積が、世界や、特にシッダ・ヨーガの道を歩む私たちに、非常に多くのものを与えてきたことから祝います。共和国記念日は、国旗に表されている高貴な価値と精神をたたえる機会です。

今一度、2021 年が皆さんにとって幸せで、安全で、充実した年でありますように！

心を込めて

シンドウ・ポーター

